

## Future Developments



KATSUKAWA

フインチューブ式ヒーター&クーラー<sup>®</sup>  
**勝川熱工株式会社**  
FUTURE DEVELOPMENTS KATSUKAWA



営業部・工場 〒578-0921 大阪府東大阪市水走 5-2-32  
TEL(072)967-2255 FAX(072)967-2256  
本 社 〒578-0903 大阪府東大阪市今米 2 丁目 8 番 9 号  
<http://www.katsukawa.co.jp> E-mail [info@katsukawa.co.jp](mailto:info@katsukawa.co.jp)



# Life to Heater

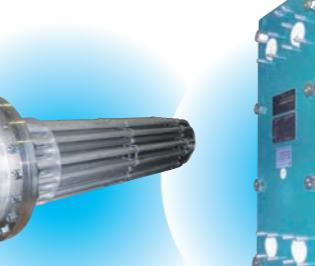
安心快適な暮らしを支えます

産業空調システム、排熱、溶剤回収に最適な  
熱交換器をご提案

あらゆる流体の熱利用の省エネ化をサポートします。



液体×ガス  
フィンチューブ式



液体×液体  
シェル&チューブ式



ガス×ガス  
プレート式



ガス×ガス  
プレート式

当社は産業用熱交換器のメーカーとして1934年大阪府松原市にて創業しました。あらゆる工業製品には加熱・冷却の工程があり、顧客のニーズに合った熱交換器の設計製作を創業以来行って参りました。自動車、食品、医薬品、電化製品、建築資材など誰もが知っている商品の殆どに当社の商品が使用されています。また、環境施設向けの熱交換器としてはゴミ処理場、下水処理場、発電所など熱エネルギーの有効利用を行う製品も供給しております。2011.3月の東日本大震災による原発事故発生以来、原子力発電に依存したエネルギー計画を見直すべく、国の政策方針も大きく見直されることになりました。原発依存から再生可能エネルギー、新エネルギー政策への転換を模索する中で、当社では再生可能エネルギーとして現実性の高い地熱利用や、燃料電池のインフラに利用される熱交換器の開発に積極的に取り組んでおります。

これまで、基礎となる技術に創意工夫をすることで日本の製造業は発展して来ました。残念ながら現在では過去の技術の恩恵を受けて生きていると言わざるを得ません。これからの社会では、急速に変化していく世界の経済、地球環境へ新たな価値をもたらすアイディアを産み出していくことが技術を謳う製造業の命題であります。

当社では中小企業の強みであるスピード感を最大限に発揮し、長年蓄積した基礎技術に基づいた知識と経験を、これから起こる社会のニーズに融合させ新しいビジネスモデルを実現して参りたいと考えております。お客様に信頼、安心、満足して頂くために、従業員一同、日々努力し続けます。

代表取締役  
勝川 義兼

# Global Technology

全ての産業を支える熱交換技術

例えばこんなトコロに  
「勝川熱工の技術」が使われています

## 原料材料を作るのに必要な熱交換器

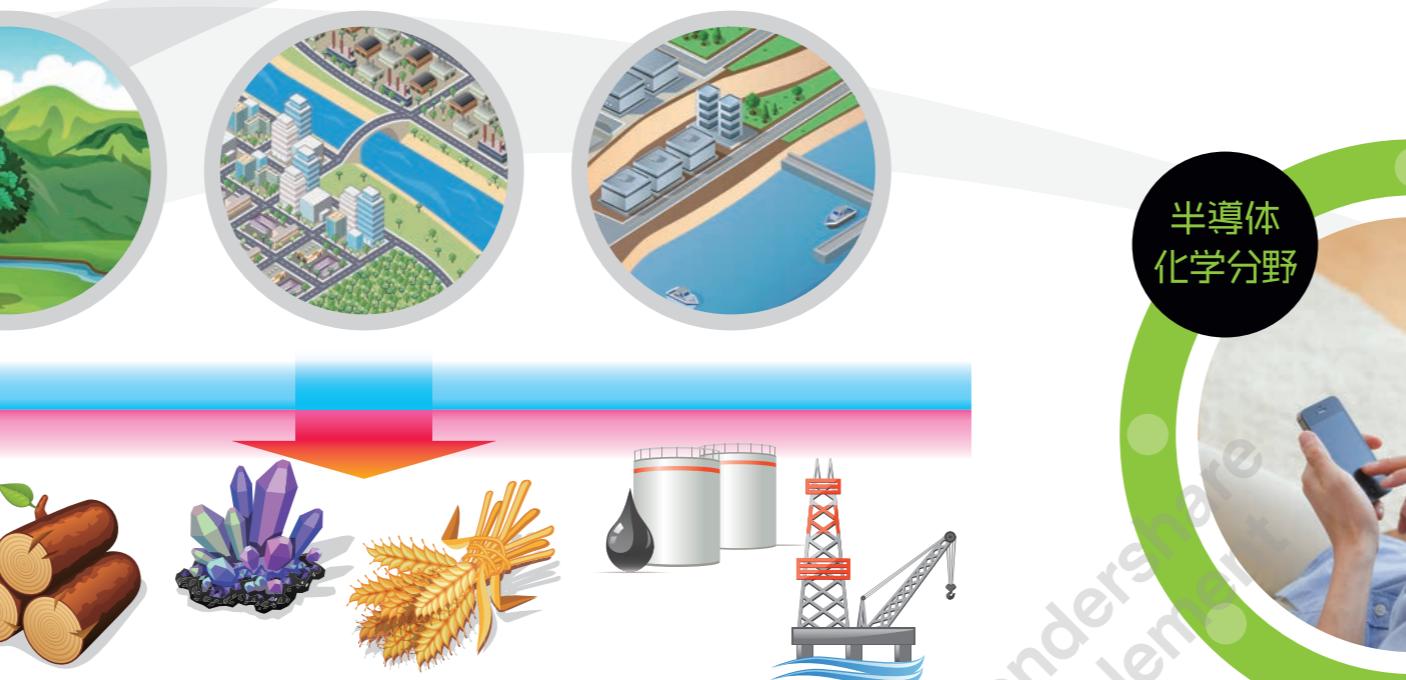
山から『材木 / 鉄 / 食物 / 温泉 / パルプ / 地中熱等』  
平地 / 川から『水 / 地下水 / 地下資源 / 穀物等』  
海から『海洋資源 / 水産資源 / 原油 / ガス等』  
原材料を作る

## 原材料を加工して材料にするための熱交換器

農林 / 水産 / 化学 / 紙パルプ / 金属加工品 / 木材 /  
石油精製材料 / 穀物加工 / 建築材料 / 纖維 / 電気 /  
ガス等

## 材料を製品にするための熱交換器

住居 / 建築重機 / 化学製品 / 建築資材 / 纖維 / 服 / 家電  
製品 / 輸送機器 / 通信機器 / 食品 / 飲料水 / 環境機器  
娯楽機器 / スポーツ用品 / 家庭用品 / 自動車 / 飛行機 /  
船 / 石油製品 / 鉄道 / 金属製品 / 紙等



## 半導体 化学分野

## 食品 医薬品



液晶パネル / フィルム業界における各種  
製造ライン内に熱交換器は必要不可欠  
です。  
また、ライン内において温度 / 湿度の調  
整も自在に設計しております。



食品の乾燥 / 水切り / 液体の濃縮ライン  
等に多数納入しております。又その過程  
段階で発生する高温のガス等を有効利  
用し ECO 対策として温水等に変換し熱  
を有効に利用されているお客様も近年  
増加傾向にあります。

## 自動車

## 各種 産業分野

## 自動車

## 各種 産業分野

## 自動車

## 各種 産業分野



自動車の塗装ブースにおける乾燥ライン  
に熱交換器を提供しております。  
また、ガス等に含まれる溶剤の回収を有  
効的に行うために熱交換器を使用されて  
います。

熱交換器はあらゆる分野において必要  
不可欠な製品です。勝川熱工では年間  
1万台以上の製品を出荷し、数千社の  
お客様からご用命を頂いております。

# Idea is Realized

お客様の創造をカタチに



## 信頼のエンジニア集団「勝川熱工が実現」する理想のモノ作り

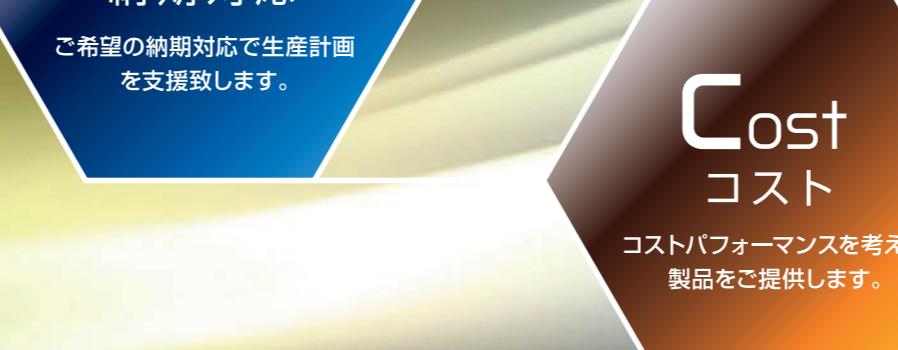
勝川熱工は熱交換器における設計・製作のプロ集団です。

熱交換器に付随すること、すなわち配管・工事・水質検査・トラブル分析等  
お困りのことがあればご相談下さい。  
幅広いネットワークを駆使し、最適なアドバイスを致します。



### Planning 立 案

お客様とのコミュニケーションを一番に考え、  
「今、お客様は何を求めてるのか」  
「今、何を必要とされているのか」  
「今、お客様は何にお困りなのか」  
を、打ち合わせの中で考え、追い求めていきます。



### Output



### Support & Service

勝川熱工は現在、  
「地球環境に貢献を・・・」  
「熱交換器がくれるものそれは・・・」  
「捨てるガスあれば、捨う熱交換器あり・・・」をテーマに、  
お客様に省エネ・エコ提案を行っています。  
地熱・地中熱・太陽光・排ガス等、従来回収されなかった熱源は、  
熱交換器によって有効利用することができます。  
このことを多くの方に知って頂きたく日々活動しています。

### 出 力

お客様の仕様に合わせ、長年蓄積された技術をもとに  
最適な設計を提案致します。

### サポート & サービス

熱交換器やその周辺機器での疑問にお答え致します。  
機動力のあるサービスで的確にご要望にお応えします。

## KATSUKAWA | Products Lineup

多様化したニーズに応える豊富な実績

熱交換器には未来を変える／未来を豊かにする力があります



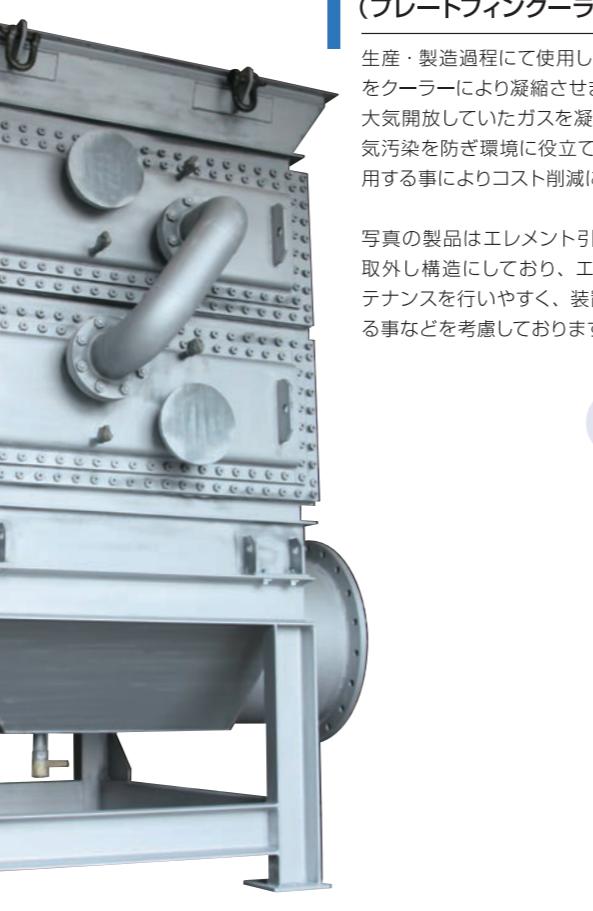
#### ダクト接続型 スチームヒーター (エロフィンタイプ)

ダクト間に接続しエアー（気体）をスチームで加熱します。  
熱媒ヒーター、温水ヒーターも設計可能です。  
左記の写真はエロフィンですが伝熱面積が大きく取れコンパクトに収まるプレートフィンタイプもあります。



#### プレートフィンクーラー (カチオン電着塗装)

左図の製品はカチオン電着塗装を施したものです。製品を電着塗料に浸漬し、被塗物を陰極（-）、電着槽内に設置した極板を陽極（+）として、この間に直流電流を流すことで被塗物側に塗膜を析出させ、優れた塗膜で非常に高い防錆力をもち塩害などにおける腐食対策などに用いられます。



#### 溶剤回収装置 (プレートフィンクーラー)

生産・製造過程にて使用した溶剤や発生した溶剤をクーラーにより凝縮させます。  
大気開放していたガスを凝縮回収する事により大気汚染を防ぎ環境に役立て、回収したものを再利用する事によりコスト削減に大きく貢献致します。

写真の製品はエレメント引抜式・ヘッダーカバー取り外し構造にしており、エレメントの交換やメンテナンスを行いやすく、装置の停止期間を短縮する事などを考慮しております。



#### 熱風発生装置 (プレートフィンヒーター)

ファンとヒーターを組み合った一体物を設計・製作させて頂きます。  
フィルター（粗塵・中性能・HEPA）や計測機器（温度計・圧力計）などの取付も可能で、御客様の御要望にお応えする最適な製品を御提供致します。



勿論こんな御要望にも  
(プレートフィンヒーター)  
御客様の御指定により塗料・塗装色を合わせ、建築物・構造物・設備機器・景観設備に見合う塗装を施させて頂きます。



エロフィンチューブは熱交換器用の伝熱管の一種であり、放熱面積を増やすため、パイプの外周にフィン（帯状の金属板）をらせん状に巻きつけて加工したものです。  
パイプとフィンは多種多様な組み合わせが可能です。（詳細については御問い合わせ下さい。）

左図は溶融亜鉛メッキを施したものです。  
仕上りに対して美観を損ないますが、鉄を高温で溶けた亜鉛の中につけて付着させる為、メッキ厚は大きくなり、防錆を発揮します。

屋外に設置や湿度が極端に高い場所などに多く使われています。



#### プレートフィンチューブ

プレートフィンチューブは各種材質のパイプとフィンの組み合わせが可能なフィンチューブです。  
フィンは金属の薄板に千鳥又は並列に等間隔の穴が開いており伝熱管に専用プレス機（プレートフィンマシン）で圧入されています。  
設計能力の要である伝熱面積に係わるフィンピッチを正確に製作致します。

パイプ 炭素鋼钢管【SGP・STPG・STPT・STB】  
配管用ステンレス钢管【SUS304・SUS316・SUS316L】  
銅管・チタン・他特殊金属  
フィン AL・SPCC・SGCC・SUS304・SUS316・SUS316L・CU・他



#### LSフィンチューブ

弊社独自開発の機械により帯状アルミをL型に曲げたものを、チューブに密着させております。  
チューブに密着する面積を広げる事により伝熱効率の良いフィンチューブとなっております。  
エロフィンチューブでは収まりきらなかったスペースにも高効率のLSフィンならコンパクトになりコストを抑える事が出来ます。



Next  
Future  
KATSUKAWA



## 会社概要

創業 1934年8月1日  
設立 1988年5月1日  
代表者 勝川 義兼  
資本金 10,000,000円  
本社 大阪府東大阪市今米2丁目8番9号  
TEL(072)966-2751  
営業部・工場 大阪府東大阪市水走5丁目2-32  
TEL(072)967-2255

従業員数

事務系 18名

製造 21名 合計39名

取引銀行

大阪シティ信用金庫 吉田支店

みずほ銀行 東大阪支店

りそな銀行 東大阪支店

## 沿革

1934年8月 大阪府中河内郡に勝川良孝個人で三宅金属製作所を設立。  
空気調節、温熱関係の機器製作。  
1947年11月 大阪市西区に株式会社勝川鉄工所としてエロフィン、  
プレートフィンチューブ、ヒーター及びグーラーの本格的な  
製造を開始。  
1954年5月 株式会社勝川鉄工所を勝川鉄工株式会社に改める。  
1965年5月 東大阪市鴻池町に本社・工場を移転。  
1979年7月 東大阪市今米に本社・工場を移転。勝川工業株式会社に  
社名変更。  
1988年3月 勝川熱工株式会社を東大阪市中新開に創立。  
代表取締役社長に勝川義清就任。  
1988年5月 大東市新田町に新工場を建設、本格的な稼働を開始。  
1993年5月 大東市御領にて第二工場稼働開始。  
1998年2月 東大阪市水走に新工場を建設、移転。  
2005年2月 西石切工場稼働開始。  
2012年4月 ISO 9001認定取得。  
2019年10月 東大阪市今米に本社を移転。

## 主機械設備

自動パイプ切断機	1基
自動パイプ面取機	1基
プレートフィン差込みマシン	MAX3000mm 1基
プレートフィン差込みマシン	MAX2000mm 1基
エロフィンチューブマシン(Φ10~165.2) MAX6000mm	1基
エロフィンチューブマシン(Φ10~114.3) MAX4000mm	2基
LSフィンチューブマシン(Φ12~27.2) MAX6000mm	1基
LSフィンチューブマシン(Φ16~76.3) MAX6000mm	1基
アマダシャーリングマシン	1台
アマダコナーナー	1台
アマダパンチングマシン	1台
アマダアイアンワーカー	1台
ブレーキプレス 250トン	1台
全自動ドリル・タップ加工機	1台
自動孔加工機	1台
テスト用コンプレッサー	3台
テスト用水槽(W5m×H2m×D4m)	1槽
直立ボール盤	2台
TIG・シール半自動溶接機	1台
半自動溶接機	15台
アルゴン溶接機	15台
アーク溶接機	20台
切断機バンドソー	1台
塗装ブース設備	
酸性水処理設備(※公害対策指定許可)	
排ガス塔設備 (※公害対策指定許可)	
熱交換器能力実験設備	

## 資格・管理

ISO 9001  
KHK(高圧ガス保安協会)溶接施工方法確認試験合格(O7KHK大溶-0082)  
経済産業省高压ガス保安法特定設備製造対応  
第二種圧力容器製造対応  
自社製造管理基準(KES)制定  
工場排出物管理内容 産業廃棄物管理票(マニュフェスト)にて管理

## 主なる取引先及び納入先

- プラント・エンジニアリング
- 建設(産業空調／工場及び施設用冷暖房)
- 商社(機械／工具取り扱い)
- 各種化学工業(製造ライン／開発分野)
- 食品工業(製造ライン／開発分野)
- 製薬・化粧品工業(製造ライン／開発分野)
- 機械・金属工業(乾燥／冷却機械用)
- 繊維(製造ライン)
- 紙・パルプ(製造ライン)
- ゴム・プラスチック(製造ライン／保存庫用)
- 電器(半導体製造ライン用)
- 電機・電力(コージェネシステム／発電機用冷却器)
- 官庁(ごみ処理設備／下水処理設備)

※納入実績については国内外のあらゆる産業に多数の実績がございます。  
弊社では豊富な実績と経験を生かしお客様の今のご要望を形にすることを心掛けたいと  
考えております。